



活用Webセミナー2025

第1部

診療所版J-SIPHE「OASCIS」に関するご案内

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター

AMR臨床リファレンスセンター 臨床疫学室

診療所版J-SIPHE「OASCIS」事務局

2025年11月26日

診療所・地域の抗菌薬適正使用支援システム

診療所版 J-SIPHE 「OASCIS」<オアシス>

事務局からのご案内

国立国際医療センター AMR 臨床リファレンスセンター

はじめに — 今日お伝えしたいこと

- OASCISは、診療所を中心とした抗菌薬適正使用の推進を目的に、地域でのデータ共有を支える仕組みです。
- 地域での導入を進めるうえでは、加算Ⅰ病院の先生方によるご案内や働きかけが大きな役割を果たします。
- 本日は、診療所にOASCISをお勧めいただく際に「どのような点を、どのように伝えるとよいか」という視点で、ポイントを整理してご紹介します。

本日の内容(目次)

1. 診療所版J-SIPHE システムの概要
2. 診療所が感じるハードル
3. 病院から診療所へ伝えていただきたいポイント
4. まとめ

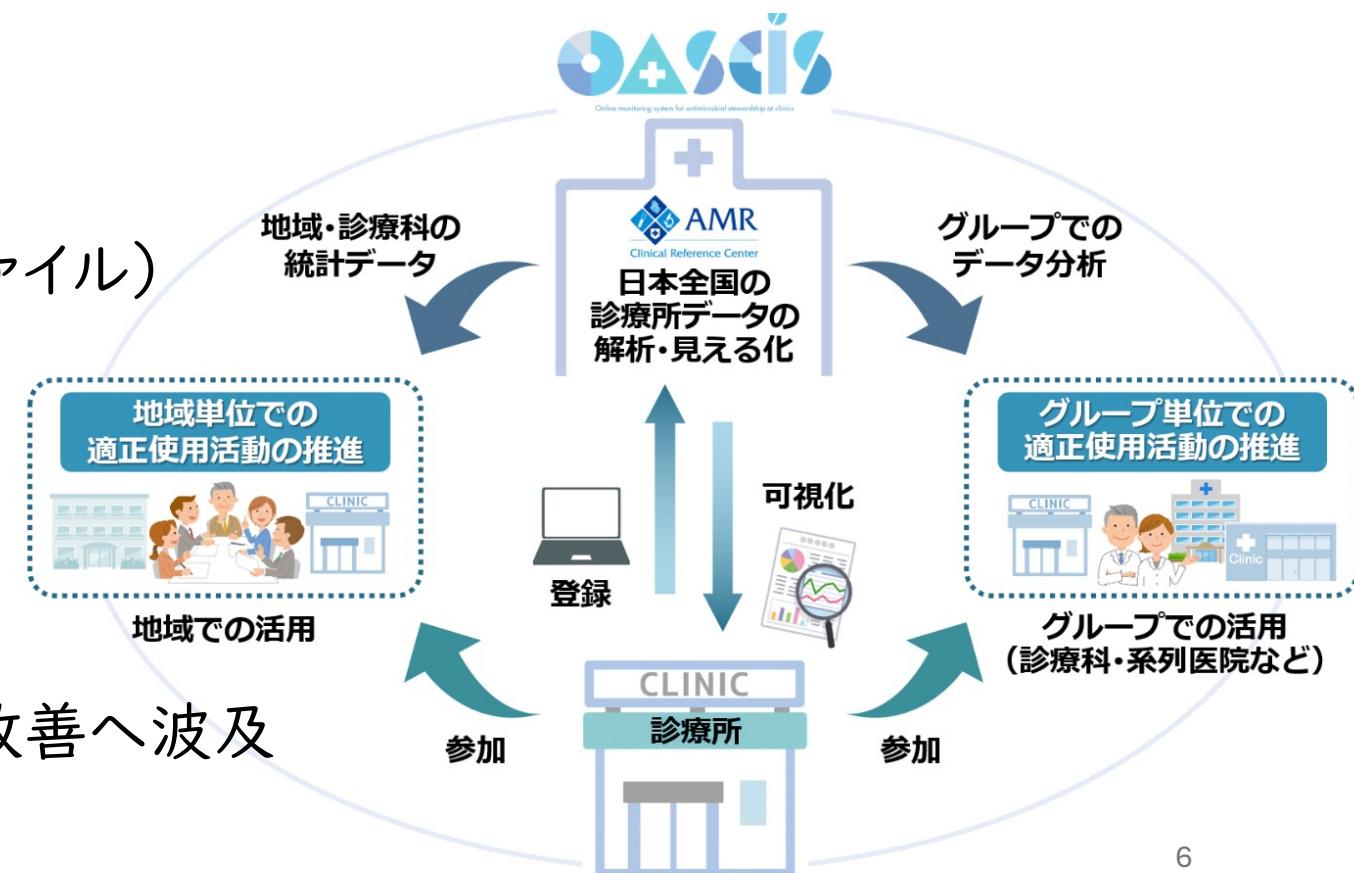
I. 診療所版J-SIPHE システムの概要



①OASCISの仕組みと全体像

OASCIS(診療所版J-SIPHE)は、診療所の抗菌薬処方データを解析・可視化し、地域全体で抗菌薬適正使用を推進する仕組みです。

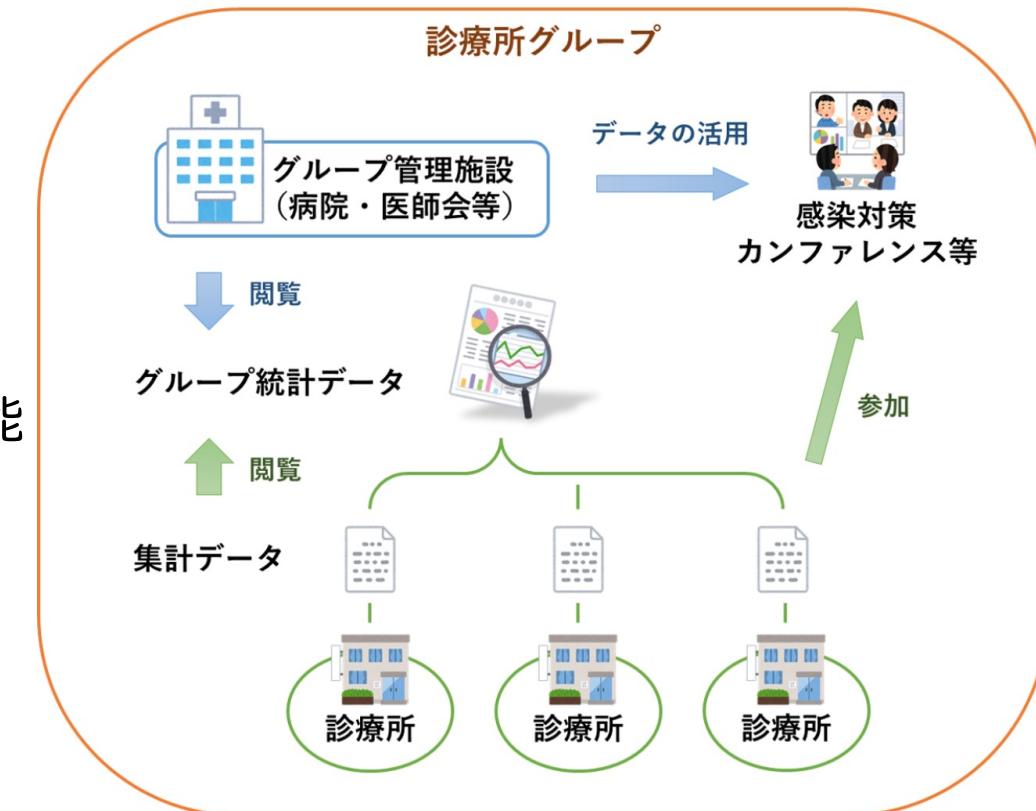
- 各診療所では、レセプトデータ(UKEファイル)をもとに登録
- 登録データは集計・可視化
- 自院・診療科・地域・グループ単位で比較が可能
- データ活用により、診療所単位の取り組みが地域全体の改善へ波及



②地域連携への活用

病院や医師会もグループ管理施設として参加でき、診療所とともに地域単位でデータを活用できます。

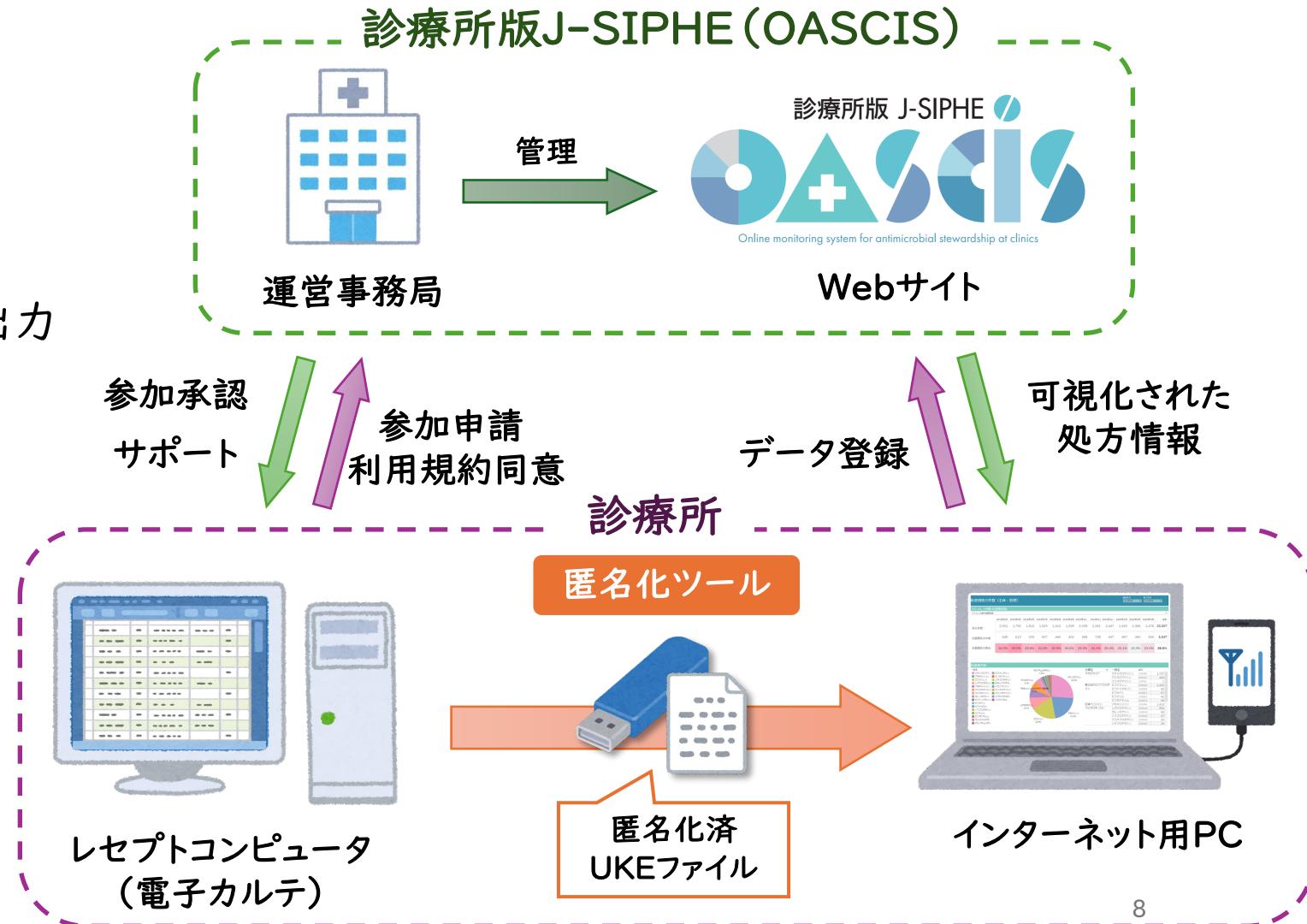
- ・ 診療所グループを作成し、地域内でデータを共有・比較
- ・ グループ統計データが自動で算出・可視化
- ・ 感染対策カンファレンスなどで地域全体の処方傾向を確認可能
- ・ 加算Ⅰ病院が中心となり、診療所の参加を後押し



③診療所でのデータ登録イメージ

OASCISでは、
診療所内で匿名化処理を行うため、
安全にデータ登録が可能です。

- ・ レセプトコンピュータからUKEファイルを出力
- ・ 専用の匿名化ツールで個人情報を削除
- ・ 匿名化済みファイルを
OASCISサイトにアップロード
- ・ アップロード後、
自院データの可視化結果を確認可能



全体データ:全施設の総計



統計データ:自施設と他施設の比較など



自施設データ:各施設の状況



微生物・耐性菌関連情報:JANISデータの連携



2. 診療所が感じるハードル — 導入時につまずきやすいポイント

診療所では、導入初期に以下のような不安や疑問の声をいただくことがあります

※2025年度日本環境感染学会J-SIPHE・OASCIS展示ブースにていただいた意見をもとに作成

- ・ **業務負担への懸念:**
 - データ登録に時間がかかるのではないかという印象
- ・ **プライバシー・情報管理への不安:**
 - 個人情報や診療内容が外部に漏れるのではないかという誤解
- ・ **導入メリットの不明瞭さ:**
 - 自院にどんな利点があるのか実感しづらい
- ・ **操作・環境面の不安:**
 - ファイル作成やアップロード手順への抵抗感

3.病院から診療所へ伝えたいいただきたいポイント — 導入を後押しする3つの視点

診療所が安心して導入・継続できるよう、 次の3点を中心にお伝えください。

- 登録作業の実際を具体的に伝える

- 「匿名化処理を行ったファイルが送信される」
「OASCISへのデータ登録は短時間で完了する」といった情報が有効です。
※レセプトファイルの作成時間についてはメーカーによります

- 自院のメリットを明確にする

- OASCISでは、自院の抗菌薬処方傾向をグラフで把握でき、
診療改善や患者説明にも活用できます。

- “地域での取り組み”として位置づける

- グループ全体の傾向を共有することで、
診療所の参加が地域全体の感染対策につながる意義を伝えます。

4.まとめ

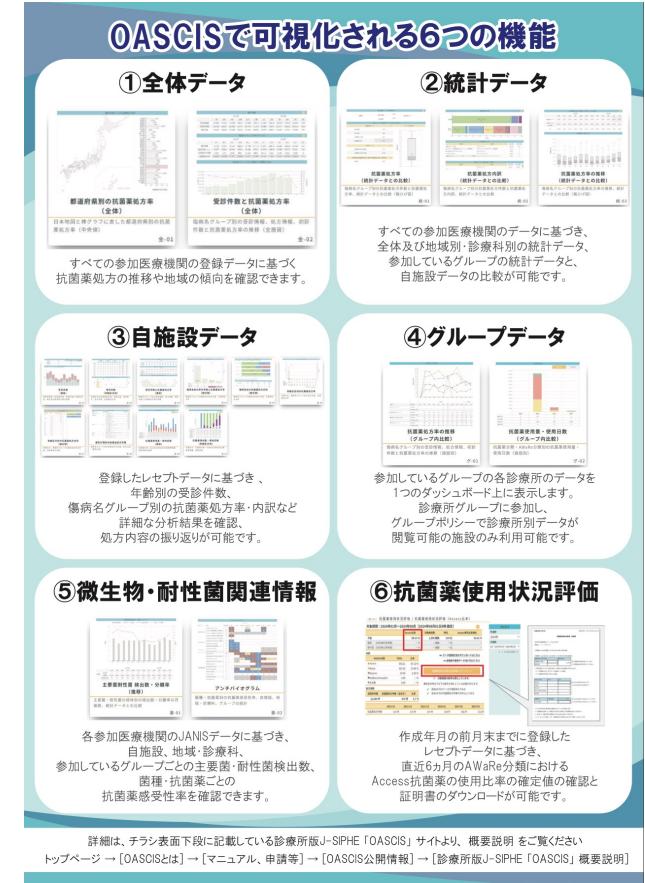
— 地域全体で抗菌薬適正使用を推進するために

地域でつくる抗菌薬適正使用 加算Ⅰ病院の一歩が参加拡大の力になります

- OASCISは、診療所が自院の処方傾向を客観的に把握し、地域全体で抗菌薬使用の現状を共有できる仕組みです。
- 加算Ⅰ病院や医師会など、地域の中核となる施設が声をかけ、導入を後押しすることが、参加拡大の鍵となります。
- 参加が広がることで、地域ごとの実態が見える化され、抗菌薬適正使用の課題を共有し、改善策を検討する基盤が形成されます。
- 病院・診療所・事務局がそれぞれの立場から協働し、持続可能なAMR対策を地域で進めていきましょう。

OASCIS紹介用チラシが、 今後公式ホームページでダウンロード可能となります。

- OASCISの概要、導入手順、ダッシュボード例を掲載
- 診療所へのご案内や、カンファレンス時の説明資料として活用可能
- PDF形式で提供予定（印刷・配布可）



※ ダウンロード開始となったら、OASCIS公式サイトより改めてご案内いたします。

診療所版J-SIPHE「OASCIS」事業主・お問い合わせ先

・AMR臨床リファレンスセンター
(国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター)

Webサイト: <https://amrcrc.jihs.go.jp> ※AMR対策全般・J-SIPHE事業に関するお問い合わせ

・診療所版J-SIPHE「OASCIS」事務局

OASCISの運用および参加サポートを行っております。
ご意見・ご質問がありましたらお気軽にご連絡ください。

Webサイト: <https://oascis.jihs.go.jp>

お問い合わせ: <https://oascis.jihs.go.jp/contact>

メール: oascis-info@jihs.go.jp



Webサイト QRコード

お問い合わせは、事務局のメールアドレス、またはWebサイト内お問い合わせフォームよりお願いします。